IT全般統制のリスクコントロール・マトリックス（例）

会社名	
決算期	
事業拠点	
対象システム	

作成者		作成日	
質問への回答者			

リスク	統制目標	留意事項	No.	統制の状況	整備／運用	予防／発見	手作業／自動化	整備状況			頻度	統制評価手順	評価並びに検出事項	調書番号	評価結果
								文書	プロセス	システム実装					
財務情報の信頼性に関わるシステムが適正に開発、調達されず、処理結果の財務情報に信頼を置くことができない	開発	システムを開発する際に意図的な不正プログラムが埋め込まれていないか、また処理に誤りがないか		システム開発するための標準化された方針および手続があり、これに基づいて、ITが開発され、更改されている	整備	予防	手作業	○	○	NA	四半期	対象とするシステムの開発は標準化された手順、文書で実施されていることを確かめた	なし		低
		システムの開発プロセスにおいて、意図的な不正や、処理に誤謬がないか		システムの開発プロセスにおいて、財務情報の信頼性に係る正当性、完全性、正確性の統制が確実に実現できるようになる	整備	予防	手作業	○	○	NA	四半期	開発の仕様書、基本設計書（概念設計書）等で財務情報の信頼性確保の統制機能が織り込まれていることを確かめた	なし		低
		以下省略													
保守が適切に実施されないと業務処理統制の信頼が失われる	保守	プログラムが改ざんされたり、承認なく変更されている		システムの変更及び保守管理については、変更管理手続に従っている（標準化され、承認され、文書化されている）	整備、運用	発見	手作業	○	○	NA	月、週	変更管理手続の規程があることを確かめた。変更管理規程どおりに変更管理を実施していることを25件テストした	25件のうち1件、承認漏れがあったが、責任者の押印漏れであり、実際には承認されているとの説明を受けた。25件の追加テストの結果、押印漏れはなく、単なる押印漏れのミスであると判断した		低
		以下省略													
以下省略															

※「システム管理基準 追補版」（経済産業省）による